

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名 著作権って何？（1時間完了）

目標 著作権の概念を理解し、大切にしようとする意識をもつことができる。

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	情報モラルにかかわる 評価の観点と方法
3分	1 著作権に関するクイズに 答え、その後、答え合わせ をする。	著作権についての基本的な問題をクイズ にすることで、興味をもつようにする。	著作権について興 味をもつことができ たか、ワークシート の記述からつかむ。
	情報モラルクイズ(中学年) 自分が買った本に、ゲームの進め方がのっていたので、コピーして 友達にあげてもよい。 インターネットで集めた、写真や絵、文章は、自由に使ってもよい。		
7分	2 著作権の基本的な考え方 を知り、ワークシートに書 き込む。	「コピーライトワールド」内の「コピー ライトって何？」を提示し、著作権につい て説明をする。 (コピーライトワールドアドレス) http://www.kidscric.com/index.html 私的使用目的の場合や、授業のために先 生が使う場合(例外)についても説明する。	著作権への関心が 高まっているか、話 し合いの様子や発言 からつかむ。
23分	3 著作権のさまざまな場面 について考え、話し合う。 (1) 「バーチャルタウン」の アニメーションを見る。 (2) MD作りは何人までならば 許されるのか、その理由を グループで話し合う。 (3) グループで話し合ったこ とを学級で発表する。 (4) 正解を知る。	「コピーライトワールド」内の「バー チャルタウン」のアニメーション「家庭」 「お気に入りMD作り」を問題提示に利用 する。 「1人」「2人」「10人」「クラス全員」 「ホームページ」の視点を与え、何人に貸 すと著作権に違反するのか、なぜいけない のかを考えるようにする。 グループの発表を聞き、賛成・反対の意 思表示をさせる。 私的使用目的の複製の考え方(家庭では 自分や家族の分ならコピーはしてもいいが、 何人もの友達に渡すのはいけない)を確認 する。 私的に使うことは許されるが、人数を広 げると、著作者の権利が侵害されることを 知らせる。	
7分	4 「コピーライトワールド」 内の「コピーライト道場」 に取り組み、著作権につい ての考えを深める。	二人一組になって、「初級」「中級」 「上級」の順で取り組み、段階を追って次 第に深く考えることができるようにする。	
5分	5 本時で分かったことをま とめる。	著作権と私的複製についての理解度を調 査するとともに、分かったことを自由に記 述させるようにする。	著作権について理 解が深まったか、ワ ークシートの記述か らつかむ。

コピーライトってなんだろう？

年 組 ()

1 クイズ

	よい	悪い	理由
インターネットで集めた、写真や絵、文章は、自由に使ってもよい。			
自分が買った本に、ゲームの進め方がのっていたので、コピーして友達にあげてもよい。			

2 コピーライト

コピーライトとは のことです。

作品（ちょ作物）を作った人が持っている権利。

自分の作品（ちょ作物）を他人に勝手に使われないための権利。

作品（ちょ作物）には、こんなものがあります。

新聞、絵、小説、漫画、CD、インターネットの文章、写真など

3 「バーチャルタウン」を見て、考えましょう。

自分が買ったCDは、何人までなら貸してよいのだろうか。

・グループの考え _____ までなら許される。

どうしてそう思ったのか

正解は _____ までなら許される。

4 授業をふりかえります。

ちょ作権とは何か、分かりましたか。（印を付けましょう）

よく分かった だいたい分かった 少し分からなかった 全く分からなかった

これからの生活で、ちょ作権を大切にしたいと思いますか。（印を付けましょう）

強く思う だいたい思う あまり思わない 全く思わない

今後、ちょ作物をコピーするときに、気をつけたいことはどんなことですか？